

マリコとオペラ!

~作家・林真理子のトーク・コンサート~

林真理子セレクトによる珠玉の
オペラ・アリアと魅惑のクロストーク



望月 哲也
(テノール)

©FUKAYA
Yoshinobu



河野 紘子
(ピアノ)



林 真理子
(トーク)



小林 沙羅
(ソプラノ)

©NIPPON
COLUMBIA



浦久 俊彦
(ナビゲーター)

©新津保建秀

2019.11.14.thu 14:00開演(13:30開場)

高崎芸術劇場 音楽ホール(全412席) 全席指定¥5,000円(U-25 2,000円)
Takasaki City Theatre, Concert Hall

発売: web8/23(金) 窓口8/30(金)

ビゼー:「カルメン」より 花の歌

マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲(ピアノソロ)

プッチーニ:「ラ・ボエーム」より 冷たき手を / 私の名はミミ / 愛らしい乙女よ 二重唱

「ジャンニ・スキッキ」より 私のお父さん

「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ

高崎芸術劇場

TAKASAKI CITY THEATRE

マリコとオペラ!

～作家・林真理子のトーク・コンサート～

一冊の名作は人生を語り、一曲の名曲は人生を謳う ——
今をときめく人気作家×アーティストによる珠玉のトーク&コンサート

音楽に造詣が深く、オペラ好きで知られる作家・林真理子。自身で初めて脚本を手掛けたオペラ・ブッファ「狂おしき真夏の一日」(音楽:三枝成彰、演出:秋元康 2017年10月初演)は、その高い完成度で大絶賛を博しました。そんな林先生ご本人が高崎芸術劇場の音楽ホールに登場。稀代の歌手とピアニストが奏でる極上の「音楽」と、繰り上げられるトークによる「言葉」で、オペラの魅力に触れるステージをご堪能ください。

PROGRAM

- 第1部: トーク・ステージ 「林真理子さんが語る～本とオペラのある人生」
- 第2部: コンサート・ステージ 「林真理子さんがセレクトする～オペラの名曲たち」
- 第3部: クロストーク・ステージ 「オペラに生きる人たちとの対話」
- 第4部: プレゼント・ステージ 「出演者からのプレゼント曲」

林 真理子 (作家) Mariko Hayashi, Novelist

昭和29年(1954)4月1日、山梨県に生まれる。
昭和51年(1976)日本大学芸術学部文芸学科を卒業。
コピーライターを経て、
昭和57年(1982)エッセイ集『ルンルンを買ってうちに帰ろう』を出版。
昭和59年(1984)処女小説『星影のステラ』が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。
昭和60年(1985)『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞。
平成 7年(1995)『白蓮れんれん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。
平成10年(1998)『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。
平成12年(2000)直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。
平成23年(2011)レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。
平成25年(2013)『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞

著書
『ミカドの淑女』『女文士』『不機嫌な果実』『着物をめぐる物語』『年下の女友たち』『anego』『アッコちゃんの時代』『ウーマンズ・アイランド』『RURIKO』『下流の宴』『本朝金瓶梅』『秘密のスイーツ』『六条御所源氏がたり』『野心のすずめ』『正妻』『出好き、ネコ好き、私好き』『フェイバリット・ワン』『STORY OF UJI』『マイストーリー私の物語』『ビューティーキャンプ』『私のスポットライト』『中島ハルコはまだ懲りてない!』『美女は飽きない』『賢女の極意』『下衆の極み』『我がパラダイス』『西郷どん!』等。

浦久 俊彦 (ナビゲーター) Toshihiko Urahisa, Navigator

文筆家、文化芸術プロデューサー。サラマンカホール音楽監督、代官山未来音楽塾塾頭、一般財団欧州日本芸術財団代表理事、三島市文化アドバイザー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩なアーティストのオリジナル企画を手がけ、文化芸術ナビゲートとしても全国で活躍している。また、日本とヨーロッパの文化交流活動、音楽をよりよい社会創りに活かす人材の育成、地域の音楽文化の振興など、その活動は多岐にわたる。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』(以上、新潮社)、『138億年の音楽史』(講談社)などがある。

■公式サイト www.urahisa.com



林 真理子 小林 沙羅 望月 哲也 河野 紘子 浦久 俊彦

小林 沙羅 (ソプラノ) Sara Kobayashi, Soprano

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ルームミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年『パステリアンとパステイエンヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リユー、兵庫県立芸術文化センター『こうもり』アデーレ/『魔弾の射手』エンヒェン、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。2015年野田秀樹演出『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演し好評を博す。2017年『カルメン』ミカエラで藤原歌劇団に初出演を果たした。2019年には全国共同制作オペラ『ドン・ジョバンニ』に出演、2020年には話題作『紅天女』タイトルロールで出演。2016年秋セカンドCD『この世でいちばん優しい歌』を、2019年秋には自身3枚目のアルバム『日本の詩(うた)』をリリース。2017年第27回出光音楽賞受賞。日本音楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

■公式サイト sarakobayashi.com

望月 哲也 (テノール) Tetsuya Mochizuki, Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外派遣研修員としてウィーンに留学。国内では東京二期会『皇帝テイトの慈悲』タイトルロール、新国立劇場『夜叉ヶ池』晁、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラポート、びわ湖・神奈川県民ホール『ラ・ボエーム』ロドルフォ、びわ湖ホール『ワルキューレ』ジークムント等に出演。コンサートに於いてはパッパ「マイ受難曲」福音史家をはじめ、教会音楽やオラトリオ作品など40作品以上のレパートリーを有している。2018年C.デュトフ指揮『サロメ』(上海公演)ナラポートに出演。2019年6月大阪国際フェスティバル『サロメ』ナラポートに続き、2020年6月オペラ夏の祭典『マイスタージンガー』ダーヴィットで出演予定。CDは『Il mio tesoro』、『Amarilli』に続き、第三弾『ひそやかな誘い〜R.シュトラウス歌曲集』をリリース。豊麗な美声で注目の男声オペラユニット『IL DEVU』ならびに『MOZART SINGERS JAPAN』メンバー。二期会会員

河野 紘子 (ピアノ) Hiroko Kohno, Piano

札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。高校、大学ピアノ卒業演奏会に出演。これまでに「東京・春・音楽祭」や「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」などの音楽祭に出演。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」やBS-TBS「日本名曲アルバム」などメディアでの出演も重ねている。桐朋学園大学音楽科嘱託演奏員、現在は二期会研修所ピアニスト、NHKカルチャーセンター青山教室講師を務める。

声楽・器楽などとのアンサンブルや透明感のある美しい音色に定評があり、CD録音にも多数参加している。また、フジテレビで放映されたドラマ「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。

■公式サイト www.hirokokohno.com

2019年11月14日[木] 14:00開演(13:30開場)

高崎芸術劇場 音楽ホール(全412席)

チケット料金 全席指定 5,000円(U-25 2,000円)

- 高崎芸術劇場メンバーズ (WEB・登録無料) 高崎芸術劇場
- 高崎芸術劇場チケットセンター 027-321-3900
- 群馬音楽センター ■ 高崎市文化会館 ■ 高崎シティギャラリー
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:162-900]



access



〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1
JR高崎駅東口から徒歩5分 ※専用駐車場はございません

主催・お問い合わせ
高崎芸術劇場 027-321-3900

*未就学児の入場はご遠慮ください。*都合により、出演者や曲目など公演内容が変更になる場合がございます。*開演後は入場を制限する場合がございます。*やむを得ず公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。*U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。当日、年齢のわかる身分証明証をご持参ください。